

#### 第4問

(1) 下記の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は、設問ごとに最も適切と思われるものを選び、答案用紙の（ ）の中に記号で解答すること。

1. 原料の消費価格差異を計上する。原料費の予定消費価格は900円/kg、実際消費高は3,500kgであった。月初の原料有高は300kg（1kg当たり940円）、当月仕入高は3,800kg（1kg当たり910円）であった。原料の実際消費価格は先入先出法で計算している。

ア. 材料	イ. 原価差異	ウ. 買掛金
エ. 仕掛品	オ. 材料副費	カ. 製造間接費
2. A社では標準原価計算制度を採用し、勘定記入の方法はシングル・プランによる。直接工の標準賃率は1,500円/時間、製品1個当たりの標準直接作業時間は4時間である。実際完成品量900個に対する標準直接労務費を計上する。

ア. 賃金・給料	イ. 原価差異	ウ. 現金
エ. 仕掛品	オ. 製品	カ. 製造間接費
3. A社では本社会計から工場会計を独立させている。工場会計にある勘定科目は材料、賃金・給料、製造間接費、仕掛品、本社である。材料、賃金などの支払いは本社が行っている。当月の水道料、ガス代などの間接経費200,000円を現金で支払った。工場での仕訳を示しなさい。

ア. 材料	イ. 工場	ウ. 本社
エ. 仕掛品	オ. 現金	カ. 製造間接費